

北の物販倶楽部
謁見音声 書き起こし資料

2015年6月27日 謁見収録 No.01

はじめに

◎【推奨環境】

このレポート上に書かれているURLはクリックできます。できない場合は最新のAdobeReaderをダウンロードしてください。（無料）

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

◎【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。下記の点にご注意戴きご利用ください。

- ・このレポートの著作権は『北の物販倶楽部』に属します。著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。
- ・このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。
- ・このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。
- ・このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。
- ・このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

北野会長：

浜辺に座っとったら津浪が来てさ。みんな、おじゃんやったという話もあからね。気をつけながら、人生を渡りましょう。前ばかり見ないで後ろを見て。前にここに来たときに何かいいなと。やるときはここどうかなと思って。ちょっと孔明さんに提案しとった。山裏にも結構いいところがあるんやて。ただ、ばらばらやから、あんまし山裏まで来てくださってっていうのもね

真田 孔明：

素晴らしいですね。

メンバー：

ここしか見ていなかったっけ

メンバー：

最高やん

北野会長：

道楽やからさ。酒を飲んで遊んどるつもりで。でも、6カ月をみんな、6カ月全部出た人？

メンバー：

僕は初めてです。

北野会長：

初めて？

真田 孔明：

きょう初めて参加される。

真田 孔明：

最近、何かかわいい人が多いもんやからわからなくなっちゃって、本当に。

真田 孔明：

もう2,000万円、弾を銀行から引っ張って。物販はこれから何をやろうか今考えているんですけど居合抜きずっとやって、きのうもビーチサイドで十何万、抜いたっていつて。

北野会長：

だから、一番の要は私が言いたいのは売れる男にならなきゃね、売れる男にね。全て。女に売れる女にならんといかんっていうのはなかなか言いにくいから、男はやっぱり今、一番のビル・ゲイツは何で儲けたか言うたら、あれはマイクロソフトの株を空売りしたんでしょ。そうでしょ。あれ、知らないの？みんな。また、皆さんネット少年やから、また、ネットを見てそう

いうことを学んでくださいよ。ビル・ゲイツは何でナンバーワンになったかって言うたらマイクロソフトの株を売ったんや。売りまくった。空売りや、それも。現物を売っていない。これは空売りや。ものすごいアメリカでも問題になったんだけど、ウォーレン・バフェットっていう人と同じやろ、あれ。あれは現物もやったんだけど、ほとんど売りなの。ところが皆さんも、頭がいいから物の本を読んでみられよ。投資は長期に持てって書いてあるでしょ。投資信託でもそうや。この前も銀行がさ、おばあちゃんに、おばあちゃんが何も上がらないって言ったら投資は長いこと持っとるもんが投資やっていうて説明する・・こういうことになるがやて。どの投資家も売りまくった投資家だけが金持ちに。そうでしょ？売らなきゃ絶対に食えないんやから。このゲームは。買いました一生持ちました。紙から紙で何もならない。この間ね、日銀と日本証券取引所と遊びに行ってきたら昔は回るところに株価って出る、テレビに、あそこの下に2,000人ぐらいおったんやて。今はその業務を・・これは何（飲み物）本当にそうなのよ。世の中はだから、2,000人いた従業員ね、今、この間、見に行ったから、これぐらい、横にも座るところがいっぱいある。15人・・わかる？全部どういの。コンピューターが自動的に売買を成立させて掲示に出すんやて。我々はテレビに映ったそれを見とるのね。テレビ局の放映室は一番、高から映しとるんやけど、日銀に行ったらね、1億円、大体これぐらいやね。1億円。男なら10キロやから持てる。10キロ。印刷してないやつやよ。印刷していない1億円を置いてある・・紙だけ。1ロットかな？フォークリフトで運ぶやつね。あのお金、1つが40億円。あれをうまく泥棒したやつが一番金持ちでないかなと、10ほどね。それがいいんでないかなと私は思ったけどね。あれ、みんなきた？ご苦労さまです。

メンバー：

おつかれさまです。

北野会長：

だから、何が一番大事かというと売れる男にならなきゃ、もてる男と売れる男ね。ぜひそれを目標にやってください。たらなきゃ増えない提灯屋って昔から言うやね、そんなね。あれと同じで売れないやつはもうだめ。それで彼は今日は上がりで抜いてきたのか、空売りをかけて抜いたのかは知らないけど、本当に1日でも勝負できるやつが一番最高。もし株価で1円抜けたら天才的な、たった1円でええ。1円ちゃ、減多にない。儲かる1円。1円や。たった1円。5円上がったって、3円上がったって1円が、ものすごい難しい。俺は1円でも売る男やから皆さんにバンと言うけども。俺は1円でも抜くんやて。1万株で1万や。1,240円か50円ね、Rではね。チップやと思うてさ。あとは食事代にすればいいだけ。道を歩いて、なかなか落ちとらんよ。たった1万円やけど。1万円札を拾ったこと1回もないもん。だから1万円を大事にする。今度、孫がハワイのマンションを使ってここで生活するから孫に1ドルを抜く速さを身に着けると。たった1ドルでええんやから。

真田 孔明：

英語版ですよ。

北野会長：

だから口座は俺の口座を使えと。番号さえ、暗証番号さえ教えておけば一緒やから。たった1ドルでええんや。1ドルいうても123円するんやから。そうやろ？ # 最高やぞ。100倍のゲームを楽しめる。

メンバー：

ipad取り出した時に1円？

北野会長：

例えば朝、買って、昼ごろに見たと。下がっていたらパンと切る。例えば前の日に買ったけど買った瞬間に下がったと。次の日、見たら上がったと。切ってまう。それがわずか1円でも大事なお金やいうことを話したから。最近、たまにガタガタと下がる時に例えばマイナス10円とかさ、300円の株で10円以上、下がるとる。

真田 孔明：

Nとか。Nは僕が買った瞬間に下がり出しましたからね。

北野会長：

そうすると俺が思っているのは10円、上がっているときは余り見たことないから、10円下がったら買うがやて。大体その日の確か手仕舞いが5円、10円から見たら5円、上がったと。それでも俺は、売ってるからね。5円プラスやないかい。落ちとるお金やからありがたく俺はもらう。

真田 孔明：

先週末、Tが最後の最後でグリーンと下がって行って、あれ買いたかったんですけど、あって見てたら30分過ぎていて。

北野会長：

だから、俺の23日にこっちで出発した日にえらい上がってきたから全部、手仕舞い、手仕舞いでさ。手仕舞いして出たの。ハワイに着いてばっと見たらドンと上がったとるやないかい。毎日、未練、残すな、金、残せってさ、人に言っとるけど。効いたね。あれは。未練って残るもんやね。笑 昔からね、結構、未練を残るけど、上がったときの株は未練が残るね。

真田 孔明：

ちなみにメンバーからちょっといくつか質問なんですけど、会長は一つの銘柄で1日、何件ぐらの利確をさせていますかっていう。

北野会長：

一つの銘柄でかい？

真田 孔明：

例えばNとかTとかいろいろあると思いますけど。

北野会長：

そうやね。暇で1日中、家におるときは3、4回はあるね。その日、たまたま買ったやつがさ、パッと見た瞬間、朝イチやから、9時何十分か、見たら上がっているから売るがやて。次に昼ごろに見てまた、少し買値よりも高いけど下がったから買う。ちょっと見たらまたふらふらっと上がっているから、また売ったと。こういうことは本当に暇な日は特にやっている。俺は暇やから。

真田 孔明：

暇な日って1日、何時間ぐらいやられているんですか？

北野会長：

見た瞬間で。俺はほとんど投資家じゃないから、ずっと見てはいない。

真田 孔明：

ずっと画面を立ち上げているわけではない。

北野会長：

全然、張りついていないの。いつも言っているね、プラスの画面が出たら売りまくるタイプやから。

真田 孔明：

たまたま開いたときに、開けたときに。

北野会長：

開けたときに、あとは気持ちやね。

メンバー：

ヤフーの画面・・・

北野会長：

ヤフーの画面を立ち上げておく。何か入っておきゃ、すぐ変わるやろ？こっちに楽天の画面を立ち上げておいて。

真田 孔明：

毎月2980円のプレミアム会員ですね？

北野会長：

これを見ながらこっちを押すが。携帯電話で利回りを計算しとる。例えば暇な時間帯ちゃ、あれやね。だから、例えば、Aがガサッと下がったとかさ。みんなに言うとする5品目ぐらいをパラパラッと利回り計算しとるわけよ。日掛け、月掛け、心がけやから、細かく見とる。ものすごく、本当は。皆さんには荒く言うんだけど本当は細かい。だから、投信でもリグられるときはどんどんリグっていくからね、俺は。わかった？投信でもリグるときはリグる。例えば5,000円ほどのTが7,000円ぐらいになっとなる。この前ね。年末ぐらいに。リグらなきゃさ、1,500円遊んどるんやから。1,500万、とりあえずいただきやみたいなバンと持っていくわけや。これが俺のやり方や。俺のやり方や。皆さんにはせんと思うけれども、ただ、こういう話を聞いていれば1日に2回、3回、売り買いができるやつが出てくる。それが銘柄をどんどんふやしていくと10回や、10回ぐらいは上がった日はおもしろくボタンを押せる日があるんやて。だから、この上がり下がり俺が言っているのは下がったときに買って、上がったときに売れば一番ええ。これだけを脳に焼きつけておくと。まず、これだけを練習してもらえば私が言っていることはほぼできるよ。

真田 孔明：

これだと追っかけていけばいいんですよね。下がってもずっと追っかけていけばいいんですよね。そのときにでも一番おいしいんですよね。結局は。最終的には。

北野会長：

でもね、下がりっぱなしということもあるからね。株は。

メンバー：

損切りみたいなことはしないのですか。

北野会長：

俺ね、損切りは金持ちやから余りしないんやて。弾、余っている。わかる？これが俺のいいところで。普通は資金のないやつは10%で20%でって叩かれるんやて。これを俺はなぜか、昔からやけど気性がこうだから、ぼっかけるタイプなんやて。ぼっかけるタイプ。

メンバー：

ぼっかけるっていうのはどういう。

北野会長：

追いかける。例えば300円の株が250円。長期的に下がったと。250円でもう1回、指値を入れていくタイプや。200円に下がるやろ。もう10万円やて。ど底がきたらもう目いっぱいぶち込んでいくタイプやから。それがど底かど底でないかわからんやて。でも、そこまで追いかけるタイプや。

メンバー：

追いかけるあれっていうのは何回ぐらい。

北野会長：

回数はわからん。

メンバー：

行くとこまで行くんですか。

メンバー：

1日に何回。

北野会長：

そうじゃない。長期的に見て下がったら、恐らくN何かね。

真田 孔明：

N下がり始めましたね。昨日、先週から

北野会長：

もともと買っていた株数が200万株ぐらいはあったはず。わかる？そのときにいじめられたわけやから。

真田 孔明：

ずっと。下がって行って。追いかけて行って。

北野会長：

結局、追いかけるタイプなんやて。だから、未練が残るし、でも、上がったら順繰りに売っていくタイプ。

真田 孔明：

これも質問があった文面なんですけど、Nが例えば360円で買ったとしますよね。最初のやつが。そこから下がって行って、どんどん買っていきますよね？これはちなみにこれがまた361円になるまで全部待たないでここで上がり始めたら全部、売っていくんですよね。これで。順番に。それともずっと追っかけて行って買ったじゃないですか？そしたらこの361円まで上がるまで待ちますか。

北野会長：

いやいや全然

真田 孔明：

ですよね。全部、売っていきますよね。

北野会長：

あとパンと上がったら下の分を切るが。今度、階段を。階段で降りるやろ？上がる時も階段で上がっていくの。

メンバー：

買ったやつを先に

北野会長：

そうそう

真田 孔明：

1個、1個売っていきますよね。手仕舞いしてますよね。1個、1個。

メンバー：

360円で買って360円で買ったときのやつは361円になるまでつけておくんですか。

北野会長：

つけておくが。そうするとこれは、カンチャンっていうんやけど、カンチャン。わかった？10持っておって、6持っておったと。カードをね。7、8、9とおるわけやね。カンチャンで挟んでおくがやて。高値で押さえてあるんやから頭を。絶対、失敗することないやろ？下は見えてるんやて。だから。下は。会社が潰れるまで下は見える。これがこのゲームの、株のおもしろいところ。だから銭さえ持っとりゃなんぼでも追っかけることができるわけ

メンバー：

資金がないとだめってことですな。

北野会長：

この間ね、どこかのおじさんが俺にさ、全然資金のないやつ、金のないやつがいるんだけど、これ何とか金持ちにできんかなって言われた。俺はそれはちょっと気つかんだな。言葉が見つからないの。弾が例えば2,000万あるとかさ。5,000万あるからこれを増やすことできん？これは答え、何とか見つけることができるがやて。ところが何もないうつを何かしてくれって言われてもね、やっぱり答えがちょっと見つからんだわ。

真田 孔明：

ちなみに会長が買われるときは買いも売りも全部、指値でやっていますよね？

北野会長：

俺？暇な日は指値やけど、ほとんどが見て、こっちの楽天のコードを見て、見るやる？
きょう、今いくらみたいなの。ほとんどその値で

メンバー：

成り行き。

北野会長：

成り行き。あっそのときの指値

真田 孔明：

そのときの。見たときの価格で。

北野会長：

360円って書いてあれば360円で1万株

真田 孔明：

読まないで？

メンバー：

そのあとどうなるかじゃなくて？

北野会長：

画面に見てるんだから。

真田 孔明：

そこから上がるんじゃないかってちょっといやらしくね。

北野会長：

いやらしさなしで、360円なら360円で入れる

北野会長：

この間も失敗したんやけどNを20万株ほど前の日に売ったんやて。ところが滑ってさ、滑って次の日に見たら売れていないの。いくらか値段は忘れたけど。それで、次の日が売値よりはるかに高く値段がついた。気持ちよくよかったなと。こういうラッキーっていうのはなかなかないことやから。でも、最近はほとんど相場に狂っとるからね。

真田 孔明：

指値ですよ。基本的にはね。

メンバー：

指値で入れたときに売れなかった、下がっちゃったときって・・

北野会長：

ある、そういうときはこの間みたいに。

メンバー：

そこで売りますよね。利益でるから

北野会長：

それはこの間は何となく気分が悪かったんや。何か女にすっぱかされたような感じやないかい？時間の待ち合わせに女が来なかったような感じやね。気分が悪いと。ま、ええわと。いうことで次の朝、朝8時何十分に見たら、その売値よりもまだ高く上がったから気持ちよく。

真田 孔明：

それは気持ちいいですね。

北野会長：

気持ちいい。そんな気持ちのいい話はなかなかないな。俺は皆さんにも言ったけど、同じ株しかやっていないから。わかる？そんな新聞、全部商いは絶対にしない。日経225がある。それは上がるなと思ったら入れとるわけ。19,800円とかさ。2万円で買いを入れておいて、これは長期スタンス。皆さんには居合切りの練習をせというのこれはただ売る練習をせということ。長期的に見たらやはりいい株をどこが本当にもっと上がるかっていうところを見つめるときはやっぱり長期スタンスで勝負。抱えて勝負する。だから、世界3本のビル・ゲイツとかさ。巴菲特とかさ。シンガポールに入った人、なんていったっけ。ジムロジャースかね。ほとんど、どこにも書いていないけどあれはみんな売りまくってもうけた人。買いまくってもうけた人っていうのは少ないの。相場を見たとおりの買いの階段ちゃ小さいやろ。買いの階段ちゃ小さいの。だから、やっぱりドボンといくあの瞬間やで。ドカンといくがやから。落ちるときは。それを覚えておかれ。

真田 孔明：

それを信用取引で例えば空売り、売り建てのそれをやる、そのシグナルはどういうときに判断されているのですか？これは。毎日下げ相場が続いたときにやっているのですか。それは？

北野会長：

恐らく皆さんの人生の中で2回はないやから。2回絶対にないやから。

真田 孔明：

2回もない。

北野会長：

ない。この前にあったのはリーマンショックやろ？今度、きょう発表されたギリシャショック、恐らくそんなに大きな波にならんやろ？みんながこの国も読み込んできとるから。ギリシャはもうふらふらやからそんなもん、見捨てるにしる大したことはない。ああいう因縁をつけて儲かった国はどこかいうたらみんなアメリカのがやて。アメリカがヨーロッパを救うためにQE3をやったんやから。QE3。日銀が今やっているのは日本のQE1、2な。これもう一発、バンと花火を思い切って打ては200兆ほどやれば経済は変わるよ。200兆やからね。

真田 孔明：

この間、テレビで円高になると。普通に考えればと言っていましたよね。

真田 孔明：

円高になる？

真田 孔明：

って言っていましたよね？今後、円安。これ以上、円安にはならないだろうって発表していましたよね。

北野会長：

だから、ここで円高になってみら？やっぱりこれは日本の経済にとってマイナスやと。Nが若い衆が言うわけよ。これはやっぱり200兆、印刷せにゃあかんと。みんな出来レースをつくるわけよ。勝つためにゲームをつくるわけ。仕込むがや。みんな仕込みや。だから、本にはどこにもさ、俺は空売りをして今の財産を築いたってどこにも書いていない、そんなもん。どこの本を読んだって。だから、あなた方が私の話を聞くと、絶対におかしい。習ってきたことと全然違うことを毎日、言っとるんやから。俺は。わかる？絶対にね、ああいうバカなことはないが。あれは日銀が銀行に投資は長くせにゃあかんよって言うのとだけ。今、国民になんやったっけ。NISAか。NISAをみんな持たせて、100万円は無税やとか、全部うそっぱちに決まっとる。最後に絶対にNISAを買う人が全部ドボン行き。それがシャバや。だから、どこにもさ、おれは泥棒してこの財を築いたいうて誰も本をかかんやろ？俺は何人やら殺してさ、財を築いたって誰もわからない。みんな一緒のがやて。

真田 孔明：

次のドボンに備えて蓄えをちょっと取っておくと。一応。日々、居合抜きをやりながら。

北野会長：

あのね、俺が言いたいのはどういふのかな。海におったらまだ難しいから、川の話で考えてよ。川に入りました。僕は一生懸命、上流に向かって泳ぎました。ものすごく力があるからかなり進んだと思いますと。川の流れと競争するわけや。人間はね。俺はを頭がいいから絶対にそういうバカなことはしないの。俺は必ず川へ入ったら下りに向かって泳ぐ。下りに向かって。楽なね。わかる？これと同じこと。海の塩でも満ち潮のときは沖におっても泳がなくても陸に着

くやて。引き潮のときに必死に泳いでも陸には届かん。これを例えば皆さんがこれからもし株をやるとしたら、コールとかオプションとかというところへ皆さん初めての単語ぐらいでしょ？それを勉強しなきゃ、本当、株だけでは飯を食えん。そこら辺の勉強をね。あと信用買い、空売り、最低そこら辺までを使いこなす技術がないと株で飯は食えん。あととはでも、あんたらちが大学を出るほどの勉強しなくていい。ものの3日も一生懸命こうやってどこか本を読んどればわかるから。でも簡単なものほど難しい。だから、1日にその銘柄で1円抜けたら自分で思うてよ。天才やと。1円に巡り合えることは滅多にないから。たった1円。俺もね、最近しょっちゅうを思ってる。昔、結構、1年間で1円いう相場を取ったことあるんやて。今日は1円だけ来いよって毎日、思うとるんやけど、パッと株を見たら8円とかさ。この間10円とか。1にゼロ口がついって1円でね。金は嬉しいよ。でも、この1円っていうのはなかなか最近の相場ではない。1円相場は本当にないよ。だから、あと1円相場と三寒四温でやっている。ドレミやろ。あと今度、下がってね。ドレミで下がったら四寒上がる。最近、四寒じゃ止まらんことある。この間みたいに六寒もね、上がるんやから。

真田 孔明：

下がるときもこの間のYは何か10回ぐらい 笑

北野会長：

最近どこが底なのか本当のね、俺は、この間思った、きょうちょうどいい日に旅立つと。今日、朝、売りまくって旅立とうなんて思っとる、心の中が。ハワイに来たら「え、今日も上がっているの？」こんな感じやからね。そこまでは別に腹が立たたんだってこういうことはたまにあることやと。次の日、また上がると。「バカ野郎、お前」と思うぐらい未練が残る。この2日のトータルゲームには俺は本当にガクっときた。ガクっとくるんやで。でも、未練、残すな、金、残せってさ。多少はチップやと。そう思って、しょうがない。次の質問あったら言って。

真田 孔明：

普段の今日時点、売り建てってやられています。空売りの、例えば、最近の。上り相場じゃないですか。一応。全体的には。

北野会長：

俺ね、ハワイに来てから相場はやならい。打たない。何でかって言ったら嫁はん来とるやる。ちょっとね、やりにくいんやて。勘が神経がちょっと乱れるやてね。電波が・・・ちょっとガガガガ入るんやて、なぜそうなるかはわからないんやけど、旅行に出たときは船の中でも本当はやりたいんやて。

真田 孔明：

この間の地中海クルーズでも。

北野会長：

やりたいなと思っても。

真田 孔明：

ネットも繋がるんですよ。一応。

北野会長：

繋がる。繋がるけども、何かね、勝てんような気がするがやて。気が。それとそこへ神経が行ってとると夜景が見えんのやて。カンヌだわ言っても、カンヌがどこなのか、どこを見とってもカンヌになって見えん。わかる？これがゴルフ、パッとクラブを上げたときに弾の10円玉のほうがはっきりわかる。だから、遊びに、ゴルフの日は相場は見るけど押さない。あんまし上がったら会社に電話して娘たちにこれとこれ売っておいてくれ。

真田 孔明：

買ったやつを

北野会長：

ゴルフ場でさ、お客さんの前で、ちょっとやりにくいから。そういうことが多い。俺はね。まあまあ、食べましょう。

真田 孔明：

基本的に信用取引をやられています。あとは現金でやられています。

真田 孔明：

信用もやっているよ。

真田 孔明：

どういうときにその違いがあるんですかと。信用でやるときと現金でやるとき。

北野会長：

どういう違い。気持ちの違いか？何でもかんで俺もそれは。

真田 孔明：

僕たちみたいに1,000万ぐらいでまず最初にやる場合は全部、信用でもいいわけですよ。3倍の買い。

北野会長：

俺は投信を担保にやるんであれば1銘柄か2銘柄するところぐらいでやめておいたほうがいいと思う。そんなに今すぐは絶対に上達しないわけやから。だからゆっくりと練習ラウンドをしたほうがいいんじゃないの。相場というのはそんなにね、簡単に勝てるものじゃないんやわ。今は上がり相場やる？だから、また、そういうチャンスが多いんやけど。失われた25年って単語があるんやから、やっぱりそういう長期間を生き延びるいう対策はそういうことをしたら絶対

に生き延びられないのやて。だから、俺は最初から言っとるんやけど、動かない。働かない。頭で考える。どこにも電気が見えない。海に落ちたと。落ちていると。そんなところで泳いだらもう終わり。すぐに死ぬ、すぐ死ぬ。泳いだらもうすぐに死ぬから。絶対に泳がない。焦ってね。だから、さっき言う潮の流れを見るしか手がないんやて。潮の流れが生命を決めるんやから。あんましにも高等過ぎて川の流れならわかりやすいけど、潮の流れはね、難しいんやて。だから、私は皆さんに言いたいのは毎日、海の潮を見とってほしいわけよ。毎日、海に行って潮を見とると大抵、満ち潮と引き潮がわかるから。今、それ以上のレベルの話をしてても難しくてわからんと思うからさ。

真田 孔明：

最初、色々やろうとしたんですけど、結局、最近、僕の場合はY、N、Tこの三つしかできないんですよ。何でかって言うとYとNは1円、2円の上がりで利益を取れるのでやりやすいんですよ。感覚を掴みやすいですよ。金額が2,300円とかとかああいうの難しいですよ。僕にとって。

北野会長：

それはね、金のグロスなんやて。例えば投資するところが孔明さんは1,000株単位か5,000円か1万か知らんよ。

真田 孔明：

1回、3,000株で100万ずつ買っていったり売っていったり。Tも1,500株でやってるんです。

北野会長：

1,000株単位の話やと。例えばTを1,000株、買うと840~50万、Sやと7800円?そんなもんやる?どうなのかね。小さいやつを毎日遊んで見とる。それで下のやつも大きい金額の銘柄を見ると。そうしたら例えばこの間、見つけた円が120円から118円、2円も動くとする。Tには600億、1円で300億動くんや。Tの利益は。2円で600億、動くんや。利益が、損失が出るわけよ。投資家は、知ってる人はみんなバットと売るわけや。だから、そこで空売りをかける。だから、本当にパッと見て一瞬やからね。切るのは。これ、わしなんか、1万株単位やから100万パッと抜ける日があるわけよ。こういうのばっかり練習している・・・わかる?この練習。それで、これ反対目出たときにどうするかいうたら要は株を自分は下がるところだけど株は上がったと。引き取るわけよ、ここで。引き取る。空売りを引き取るの。玉を引き取れば買ったと同じことやから。こういうことをするわけよ。ちょっと難しいかな?信用売りも一緒なんやて。1回、売ったものを信用売りも一緒やから。信用買いも一緒。例えば1万円で買ってさ。信用買いしたら11,000円になったと。ここで手仕舞いするわけやろ?手仕舞い。要は1万円で1,000円なら1,000円、抜けるわけや。こういうゲーム。だから、信用の枠さえ持っていれば何かが見えたときにパッと抜く瞬間、全部は当たらんよ。絶対に全部は当たらん。俺がね、絶対にそうだろうなんて思っても相場は反対に動く日がいっぱいあるから。反対に動く日があるがやて。だから、そういうのも含めてやっぱり一番いいのは弾余裕。だから、資金をギリギリに使わんと、やっぱり弾に余裕があれば必ず相場は勝てる。資金に余裕がないとね、投信でも原価に近

づくと怖なって売っぱらう。それはこの間、サッチェルが何か言うと思った・・・そういうメンバーがおったいうてね。サッチェルは俺は何と42%、利回りを取ったけど彼はちょうどトントンのところでやめた。そういう人っていうのは必ずね、相場をやっていてできるの。本当にこれなぜか高いときには買いたい。安くなったら怖くて怖くて私、持てないわ。持てん男が一番、持てない、損切りあるんやて。人間は。この人はね、癖やから。次、相場を打っても同じペースを、道に行くがやて。こうやって上がったときのここらで掴む。山を越えたらザッと下がっていくんやて。ここらで必ずいつも投信でも株でも必ず下り坂で。気性やから。そういう人に言ってもダメ。俺から言うのと自殺するかやめたほうがどっちかや。直らんでね・・・絶対に。相場だけは。だから、もし、今まで何回か居合切りの練習をして自分はあかと・・・三寒四温やよ。わかった。あんた、一番最初にこのゲームを当てたんやから。恐らく難しいやろ？難しい。あんた、もし、自分で難しい、気性が合わんと思ったら株には手を出さん事。2分か1.5分の投信でもやるとれば金はチビチビ増えていくんやから・・・本当。わしが聞いとるというような投信はそんなに五千何百あって。日本で5,800ぐらいある投信の数が。美味しいのは一掴み。アメリカにはね、1,200ほどある。ちょうど日本の倍。日本の投信が100兆、アメリカの投信が200兆。でも、どこの国に行っても同じで、儲かるとる人はさっき言ったこれぐらい。

真田 孔明：

アメリカは1万2,000種類あるんですか？日本が5,000で・・・

北野会長：

そうそう。1万2,000ほどあるがやて。アメリカの場合はもっと利が薄い。利が薄い。日本は何で利が高かったかと言うと、ある証券会社の若手が日本の政治家に向かって言ったわけよ。こういうお客さんを騙すね、騙す株式相場はもう続かないでしょ。わかる？騙す相場、証券会社。そういうやり方はもう終わったんじゃないですかって提言をかけたわけよ。日本のおじさんらちも確かにそうやと。昔は野村が債権を投資信託を売るときに金持ちにしか売らん。6カ月回してみても大丈夫やな。それを金持ちに売った。ロットがでかいけど金持ちに売った。早く売れる。金持ちはもっと喜んで繋がってきた。ところが、野村の昔はやっぱり250円ほどあって、配当金もよかった。すごく。そういう騙しの世界はもう終わったとこう言われとる。だから、あとの人は一般庶民はクズだけもらとるわけよ。外交さんが来てさ、おじいちゃん、おばんちゃん、100万買って、300万買ってって頼みに来て買った人は全部、ゼロにはならんにしろ誰もおいしい目に遭えなかった。儲けなきゃ、野村や大和や山一は潰れたけど。全国に支店あるんやろ？従業員の数いるやろ？従業員。女の受付から部課長までおる、支店長まで。そういうさっき日銀にも日本証券にもそういう人件費のかかるやり方はもうそぐわないということ・・・世の中と。わかる？世の中とそこがね。1,500人いた従業員が15人になるような。楽天証券の店舗どこにあるか知らんほどや・・・みんな。支店なんてあるのか？あれ。ないやろ？じゃ、どこに人件費がかかるのよ。電気、水道、ガスから払ってないんやから。だから、野村や大和証券の倍の株価を楽天がつけとるわけよ。最近は楽天は金、弾集めをしとるやろ。社債を出して弾、集めをしとる。ここやて、時代は変わった・・・時代は変わった。孔明、孔明さん。次は何が出てくるの？ワイン。

真田 孔明：

ワインを頼みますか。

北野会長：

ワイン。みんな、この場合は白、赤どっち？

真田 孔明：

ボトルのほうがいいんですかね？

北野会長：

ボトル。ボトル。フルボトルで白ワインでええわ。でもね、すごい今、やっぱりそこへ弾が流れとるんやて。当然、三木谷さんは諮問委員会の役員やから。おじさんらちは認めたわけよ。だから、時代が変わったわけ。だから、全国民に一定に利益をっていう考え方やからね。100も200も支店があればさ・・そんなやよ。本当にね、皆さんが信じられんような話がたくさんあるがやて。株を買わせるやろ？これ上がりますから買ってください。その先に仕込んで。その株を安いときにね。わかる？1,000円で買ったと。「1,200円やから買っておかれ」こんな感じ。1,300円やから買っとらかれ。もっと上がりますよって売っとるがやから。こんなやり方はダメやよと言われとる。

メンバー：

それが野村証券ですか？

北野会長：

今の今までの大手どこどこやとは、はっきりは言われんけども、残っとる大手は、そんなもん。そんなコンピューターで全てできるような時代に・・まだ支店があって、支店の女の子がこんなことしとるやろ？またね、やっぱり聞けばすぐに言うがやて。どうやって言い訳するのって言うたら、株と投信は本当におばあちゃん、長いこと持たんとダメなんですよ言うて必ず言うがやよ。それは支店長がそうって毎朝、朝礼に言うとるんやから。本当！藤原式やったっけ？何やったっけ？あんたが書いとるサイトの中に入っとる。あとは、ヘッジファンドみたいなものもこれからは覚えていかんとならんね。

真田 孔明：

ファンドでお金を集めてみんなでやるみたいなの。

北野会長：

俺はそういうのは余り好まない。俺は金持ちをたくさん知っとるから。これがいいよって言う。これみんなで行きましょういうて。俺は金、人の金は扱わない。面倒なだけやて。一つ、長い付き合いをしたいから、ピンハネ興業は自分の商売でやっとる。お客さんを相手には余りしたくないなと思って・・俺はね。それは多大な利益にもなるけれども、万が一のことがあったらその人に対する迷惑にもなるやろ？迷惑になる。野郎にさ、騙されてって言われても、たかが

紙の話やから。銭っちゃ。そういうのは余り俺は好まんいうタイプ。投信もバンと皆さんに言うた、買われる力あるなら買っとけ。買われないやつは貯金してから買ってもいいけども、貯金しても間に合わんのやてね、世の中。これが難しい・・・この世の中。弾持ちは大丈夫。弾持ちならね、やっぱり何とか指導はできる。お金のないやつは俺はちょっと難しいな。俺はちょっとこれだけはね・・・いくらゼロのものにさ、金儲けて難しい。

真田 孔明：

既に会長が教わった内容をもとに2,000万引っ張ってきたりしたわけですね。決算書を綺麗に整えて・・・納税もして。ゆっくりと時間をかければまた増えてくるわけですね？返し続けていれば。

北野会長：

1年目はマイナス。2年目はトントン。3年目はチョイ黒字。無理はさっき言った、長生きするっていうことは無理せんということやから。わかる。長生きしたければ絶対に無理せんこと。金の無理は特にね。

メンバー：

利子は払い続けたほうがいい。

北野会長：

いいことを言うは。義理は立てなあかんぞ。俺はね、よくね、そういう話をするんやて。金を返してくれ、返すとは言うが。でもね、よく聞いて。俺の会社が金を借りるやろ。皆さんの会社も借りる。わしらは借入やろ？借入金って書くやろ。じゃ、お前、銀行から見たら何のがよ。あんた、どう思う？銀行からその2,000万は何になる。

メンバー：

売上。

北野会長：

すごい。頭のいいやつがおるが。売上になるがよ。そうやろ？売上を維持するためにはあんたが努力しとると思えばさ。返す必要のないお金かの？返さんならんのかの？売上建てとるんやて。2,000万借りたから銀行から売上やん。そういうことは企業努力しとるということやぞ。だから俺が言うのは先生の言う利息は返しても元本を返さんでもいい交渉をするやつが一番楽。昔、孔明さんにワイン2本ほど飲ませてもらうてこう言った。俺は1,000兆ほど借金したいわみたいなことを言うたら、あんた、頭、狂っとる言われて。

真田 孔明：

笑

北野会長：

初めてこういう話を聞くと。でも、わしがやっとするのは借りた銭と回す銭が隙間はいくらか知らんよ？この隙間を取っとるんやから・・・経済の。授信を1%で借りて11%で回したら10%は自分のものやから。そんなもん、元本を返しとったらひどいんやん。お前、そんなもん1億、返してほしいなら2億、俺に融資せちゅうの。俺は2億、負債やよ？でも、支店長、あんたは2億の売上が立つ。今日ね、ワイン1杯、パンと飲んでさ、別れようぜと。サラっと言わな！恐らくこういう10億以下ぐらいの交渉はやっぱり俺は上手。それだから「支店長、何時に終わるの？」「今日、一応、何時やから」「支店長、どこら辺の飲み屋に行く？」パパッと聞いてさ。この居酒屋で。居酒屋なら相手もそんなにね、気軽に出来来るやろ？

真田 孔明：

余り高すぎると。

北野会長：

だから軽いところで誘ってあとは日本ならクラブ活動。こういうことに引っ張って行ってさ。あとは切り口が支店長から見たらそんなもん、売上なんだからさ。パーっと行きましょうよみたいなことを言ってさ。飲まれ、飲まれいうてドンドン飲ましておくがや。

真田 孔明：

支店長と飲みに行く活動って何歳ぐらいからやられていたんですか？大体。

北野会長：

俺は昔から、銭ないから22ぐらいからもう毎日、それが仕事やった。いいこと聞いた。あのね、昔、若いとき銭がなかったんやて。100万円を定期に自分がやよ。銀行に行って交渉するわけよ。100万円、定期にするからいくら貸してくれいうて。そしたら300の銀行あったらOK、すぐOK、俺の場合。また300持ってまた隣の銀行に行ってまた交渉しとるんやから。これは人の銭やぞ、お前。わかる？今度、300万キャッシュを持って来るから、いくら貸してくれる。こういう感じやからね。

サツチエル：

額を上げていく

北野会長：

わかる？このね、これしかなかったん。本当のところ言うたらね、新婚旅行から帰ってきて持った銭10万円やから・・・10万円。後にも先にも10万と何千円かあったけどそれしかなかったんやから。会社の資本金がその時分、積み上げでもよかったの・・・帳簿に。初めての代書屋に1,000万円と書いておいてくれ。1,000万なんて見たこともない聞いたこともない。張ったりだけや。張ったりちゃね、でかいものがやちゃ。支店長が俺、全額、返すいうてやぞ。支店長がもし怒って返してくれ言うてもお前、ねえから返せんやろがよ。今は回っています言うてパンと。言わんにしろ、これね、またね、冗談でこう言うと支店長がえ、そんなの。銀行にね、

何ぼでもこんな話をしても敵はできないの。金融機関やから。まして支店長なんてサラリーマンやから、エンコ指を取ったらすぐクビや・・すぐ。だから、こんないい利回りもあったもんで、新規開業と言えどもこっちの開業のほうがいいかなと思ってこっちにしました言うて。これ利回りいいな。支店長、細かい返済とか言わんとさ、一緒に飲みましょうと。これぐらいの勢いがなかったら時代はすぐに終わっていくぞ。日掛け、月掛け、心がけで銭は返せってみよ。差額しか抜けない。わかった？

メンバー：

はい

北野会長：

配当金が例えば2,000万で2分あって40万や。40万ならシワ32万。だから20万ほど払ろうとったら10万、残るかもしれんちゃ。それじゃ全然、増えんやろがよ？だから、俺が言うのはそこをいかに社債でも何でもさ、判子でもさ、押してさ、勝負しなきゃさ、金は残らない。今、言ったように返しとる経営者は全部、飛んだっていうのはここや。日本経済、50年ぐらいから60年にかけてこんなにして伸びていっとる。わかる？ということは人件費も経費も余計いっとる。莫大に。かかっとる・・経費が。そんな時ね、こうやって一生懸命、返しとったら会社がない。当たり前や、そんなもん。だから、返さんだやつだけが残っとるいうて。一番でかい企業を考えてみれ、お前、返さん・・一番でかい企業は。世界の1番がビル・ゲイツでてめえのところの株を売っとるんやから・・空売りしとる。まさしくそうや。世の中っていうのは酷いっちゃうこと。だから、売らなくて買っただけで儲けた・・なんて全然いないの。売って売って売りまくったやつが通用する。俺も確かにね、そこで残った1人のがやて。俺の友達はまだ売れなかつただけ。ドカンと4万円から25,000円ぐらいで1回、ドンと来たね。それで何となく、何となく持っとる株を。持っとる株を売ったんやて。空売りをかけたが。だから、持っとる株を空売りかけた。何でか言うたら手仕舞いするときに株を持っとるんやから株券、出せばそれで終わり。ここら辺はかなりの細工やから持っとる株を空売りかける。そしたら何とね、差額あるやろ？差額が俺のところチャリンと来るが。俺あのとときね、誰かと何か話しとったときにこの話を聞いて、世の中、こんなすごいことがあるんやと。何でも冗談でもやってみんといかんなと。25,000円からチョロチョロしとって、また何か相場が変になる、次にドカンと来るときにこれひよっとしたら持っとる株をもう1回、全部清算して、そしたら下がった差額、全部俺のものになる・・なぜか。世の中がこれやっぱり売り勝ちやと。俺、昭和50年の終わりから相場をやって、63年までね、あんだけの銭、見たことなかった。ドカドカと落ちたけど最後に株券は残っとるが、あぶく銭は全部、取ったもんでよく考えてみればあぶく銭のがやて。だから、ショッピングモール出た、おし買った。マンション一棟買い

真田 孔明：

しかも落ちてるときだから安く。法人ごと出ていたわけですね？法人ごと。

北野会長：

単品でも出だし、法人売りも出て。こっちも法人売り言うからいいわ、いいわと。あぶく銭で買うもんちゃね、高いやつは余り関係ないね。利回りさえちょっとあればまあ、ええわい、ええわいって、ほとんどええわい、ええわい。それが基礎みたいなもんやけど。本業は真面目にやとったんやけど、本業も何かいらんものを買ったらを利回りがまんまついてくるから。だから、最近はどこかそっちのほうによりかかって。

真田 孔明：

本業は何か前に50歳ぐらいまでは真面目にやっていたとおっしゃっていた。

北野会長：

正確に言うと48ぐらいまでは一生懸命やとった。だから、失われた20年の間にそういうことがあったからやっぱりもうええわと。金には未練はないから。株。金にはもう未練はないが。そして遊び始めたら今度、業界から見たら不動産、賃貸、こうやってみたら視野がもっと広がる。よく見たらこれもしかしたら、この紙が一番おもしろいんじゃないかなと。そこで得意な情報生活や、何か情報化社会とか言ってさ、政治家のメンバーにも、先生、先生、あんた何か情報を持っとるんでないかと。この口だから言われんことはない。銀座でもどこでも飲みに連れて行ってやるから、お前、何か美味しいもの（情報）を。これが大事のがやて。

真田 孔明：

でも、会長しかできなそう！ 笑

北野会長：

これくらいへっちゃまやからね。どこの女の子を紹介するから。先生、固いの、固い話ないの？と。こういう話とその投信の始まりなんやて・・・そんな話が野村から来とるんやけど俺、何億も銭ないか譲るよって。俺はそのときに言った。銀座に座とる女の子にお前、先生、譲るよ言うてさ。ジョークやけど、やっぱりそう言って悪い気はせんもんやて。情報交換やからそれがもとでこういう世界にもまた入り始めたわけ。政治家の先生もさ、もともと代々の人もいるから色んなところにおると。散らばとると。先生ね、各自、みんな集めてデータをさ。だから俺によこせと・・・データを。いい話があったらくれりゃあさ、俺は銭は払うよと。自民党にも。どこでもいいんやから・・・俺は。美味しけりゃ。矢でも鉄砲でも、肉でも魚でも何でも食べるからというのが俺の言い分。ただ、やっぱり条件のいいものを頂戴よと。ってお願いしとる毎日。だから、自分の頭は余り使わないの。これはでも情報を仕入れる頭やから、情報を仕入れる。でもね、この金を返さんという方法と、情報を仕入れるのが一番、甘いんでない？俺は、はっきり言って、俺の世界から見たら甘いんよ、甘い。いい、美味しい話。

真田 孔明：

でも、稼ぐためのセールストークを考えるより銀行にね・・・こういうのを覚えたほうがいい。セールストークも大変なんですから、レターを書いたりね。

北野会長：

そういう彼がやっとな細かい作業から徐々に私が言っているような段階へ階段を登れば上手なトークができるようになるし、最後はやっぱりこれ。やっぱりいるんやて。ラッスンゴレライみたいにただの芸やけど、何を言っとるかわからんけど、何となく人が盛り上がりやすい。ビルを所有しとるわけやろ？これビルを持っとるっていうのは一番楽。土地、建物を持っとるんやから。段々、恐らくは元本と利息を返済しとる。それで家賃からそれを納めとるやろ？差額しか残らん・・・あれを全部、家賃があんたの懐におってみらま。楽やろ？これを仕掛けるのは、そこなん。俺が今いった営業トークがないとでっかい会社じゃないから社債とかさ、株券というのはダメやけど、やっぱり1年間にいくら返しとるか知らんけど、例えば1,000万返すんなら次に借りるときは1,500万、ここに伸びをつくる。500万だけ。これ1,000万借りとっても500万まだ残っとる。こんだけでいいの。電車の乗継そうやろ。前の1両目、脱線しましたいうて落とすけど、ここにお前、こんだけ4列か5列、こうやって尻尾をつけておけばさ、これは全部いただき。こういう具合に借金は増やすもの。聞いた孔明さん。借金は増やすもの。借金が増えるとなぜか信用が増えていくわけよ。聞いて。借金が増えると。

メンバー：

1000万、最初に借りていて・・・

北野会長：

全然違ごうとるわ。理解力がならん。年間1,000万銀行に返すと。その支店長に1,500万借りる。こう考える。1,000万返すやろ。1,500万借りるやろ。そしたら500万残る・・・運転資金が。ということはまだ返しとらんと一緒。帳面上はこうやって返しとるんやて。毎月。返した額以上のものを引き出すことが仕事やよっての。これが仕事。

真田 孔明：

ちょっとキャッシュフローが大変だからもうちょっと貸してくださいっていうんですか？そうでもない。

北野会長：

そこを人間関係を作りながら。

真田 孔明：

飲みの席で。

北野会長：

永遠に。

メンバー：

普通に1,000万、借りて。順調に返していっているからそこで信用をつけてもっと金を貸してと。今度、借りるときは1,000万じゃなくて、まだ残っているから1,500万、貸しますねって

向うは言って来るからそれを借りて、大体、今、先に借りたの返してはないけど、1,000万円返しても1,500万借りたら、返したとしても500万まるっきり残る。返していくと今度、2000万貸してくれって言うのと2,000万貸してくれる。どんどんどんどん借金が雪だるまに増えるからそれは信用・・・それを。そこは金融機関と。

北野会長：

たったこれだけの話なんやけど・・・あんたもうちょっと説明してあげてよ。

メンバー：

今、先生が何か理解していなかったのは、借金をするというのは預金があることとイコールだと思った。僕ら素人は絶対にそう思わない。借金ってマイナスっていうか、自分にとっての負い目だと思って。負い目じゃなくて、会長の言葉で多分、言うんだったら、これは勝ち目だと。借金がでかければでかいほど俺の15年を追い込められなかったから。だから、借金のでかいやつは追い込めない。金融機関。担保で絶対に押さえきれない。回収になんか行かない。回収をする態度だけ。それはもういわゆる減損処理するしかない。だから、どんどん雪だるま式に借金を増やす。素敵なことにもっと銀行は金を貸してくれるっていう。これは多分、この扉に入れた人しかわからない。

北野会長：

確かにそうやけど。本当はね、銀行から言うとさっき言った俺に貸したお金は売上やから、俺に対する売上がどんどん増やしたいわけよ。だから上手に借りればいいわけ。何とかの融資が信用保証協会がつきますからそういう話を支店長がしないバカがおったら支店長にこんなやつ出てるんやろ？って言いながら借り入れる。簡単に借り入れる。借りるときはニコニコって、サラッと借りるっていうこと。借りたら返さん。これが金持ちになる本当は最大の・・・

メンバー：

利子しか返していない一方、また貸す・・・

北野会長：

売上を上げてくれる会社やて・・・俺は。利息はきちんと払っとるんやろ？元本を返したらひどいやろ？元本を返したら人生短いから。俺、よく言うの。「支店長、人生は短いからさ。元本は次のときにしましょう」言うて。俺が死んだら元本回収してくれと。俺の時代は俺、忙しいからさ。利息だけにしておいてくれと。最後になったら「利息も1.5、ちょっと高いと。支店長、ほかの銀行はコンマ6やから、あんたのところも並びかね、せいぜいコンマ8ぐらいにしてくれ」って。「いや、会長のところはあんまし回収もよくないもんでコンマ8に・・・」「いいよ」支店長のバンと立ててさ、ここは。もう1軒、飲みに行こう。バンと立てて言うたらコンマ8でものめることやから。これぐらい毎日言ってる俺・・・毎日。今は自分が会長、みんな各会社の社長がおっから、それが「お前らが接待して金を借りるのが仕事や」と。お前、「銭なんて儲けたってね、難しい」あんなもんね、20万ずつ金儲かった、200万ずつ金儲かった言う

て、考えてみいよ。200万ずつ儲かったいうても10カ月経っても2,000万やぞ？お前、借りてみや。

真田 孔明：

一瞬ですよ。

北野会長：

一瞬や。

真田 孔明：

弟でもできちゃいますね。農業しかやっていない 笑

北野会長：

だからそれを各社長にそうやって言うとのわけよ・・・俺は。お前らは金を借りることが全てやから。

真田 孔明：

次、赤ワイン飲みますか？白ワイン、終わっちゃったんですけど。

北野会長：

じゃあ赤ワイン。簡単やろ？考え方が・・・

メンバー：

考え方は簡単です。

北野会長：

あとはいかに現実とすり合わせていくかだけや・・・支店長と。都合悪くなったらね、パンと席を立つこと。それで、訪ねてきても会わない。覚えておかれ・・・会わない。居留守。顔を見てもやから。顔を見てもいないっていうんやから。これぐらいの人間、度胸がなかったら勝っていけんよ。これは当たり前やろよ。世の中ね、そんな甘いもんじゃねえから。

真田 孔明：

会長の前回の東京の音声は熱い。何かちょっと失われた20年ってあるじゃないですか。あの期間をどうやって生き残ったんだっていうね。お伺いしたんですよ。そしたら会長の趣味はまずは釣りじゃないですか。あとはゴルフじゃないですか。海の釣りと山のゴルフ。両方、携帯が通じない。

北野会長：

簡単やて。都合悪くなったら逃げるが。わかった？逃げんやつは助からんよ。逃げんやつはみんな戦死するが。そんなもんね、都合悪くなったら逃げるだけ。必死に逃げにゃあかんよ。そんなね、格好よく立ち向かって勝てんがやから。すぐ方向性を変えて逃げる。

真田 孔明：

戦争で生き残ってきた人も逃げられた人は、逃げられた人 笑

メンバー：

間違いないですね。

メンバー：

確かに。

北野会長：

死んだ人には申し訳ないけど。世の中、みんなそんなもんやて。

真田 孔明：

うちのじいちゃん、ミャンマーで1人だけ生き残ってきたんですよ。多分、木の上から見てた笑 もしくは死んだふりか何かして。

北野会長：

ほとんどそうやろ。皆さんは俺が本当に言うことを1回、1回、習ってきたことと、全く違った話やから理解はできんと思うんやけど。努力して理解して生きてください。6カ月経たんとね、大体わからんのやて。6カ月経ってわかる人は早いほう。

真田 孔明：

相当時間かかっています。

北野会長：

本当にわからんやて。

メンバー：

前に孔明さんに話した・・・うちは父親が8年前に亡くなったんですけど、会社の借金が莫大に残っていて、僕が役員、弟がいて、ほとんど元金を返さない、利息だけ返してという状況で、それでなんとか回って・・・

北野会長：

土地、建物、担保に入っているの？

メンバー：

全部担保。

北野会長：

借りたお金、土地、建物とそれを売買として考えるね。売買。売り買いと考えると売り買いして、借金と妥当だなと思えば銀行に処理させる。

メンバー：

そこまでまだ価格が上がっていません。

北野会長：

価格がもし持っている物件のほうの下なら、倒産かけてとけばいい。倒産かけておく。それはどっちみち法人の持ち物なんですよ？個人なの？

メンバー：

建物が法人で土地は個人。

北野会長：

それなら法人で飛ばしておけばいい。例えば借金が2億あって資産価値が1億ならパンと飛ばす。会社なんてね、20万から30万ですぐ、その次の日、また新しい会社を登記しておけばいい。わかった。

メンバー：

相続されていない、名義は父親の名義のまま。建物は会社。

北野会長：

だから会社を飛ばせば父親の資産も全部一緒に飛んでいくから。飛んでイスタンブールや。例えば借金よりも借金は2億あったと。資産価値が3億あると。これは企業努力して土地、建物を売ればええんや。

メンバー：

低い場合は・・・

北野会長：

それは飛ばしておいたほうがいい。飛ばす。手形1枚、10万円の手形でも飛ばせば飛ぶ。そんなこと世の中、いっぱいあるよ。折角、こんな話が出たから皆さんに答えも言うとかけど、俺も例えばマンションを買って、ショッピングモールもマンションも2つ、3つ買って、ショッピングモールも2つほど持っとるんやて。それで本当はこれの計算はどんどんキャッシュで買ったから全部、ドンとそこで今、借金しとるんやて。借金・・・借金してるの。目いっぱい借金したら飛んでイスタンブールでもいいなと思うと。2億のものを2億で持っとってもプラスマイナ

ス、ゼロやろ？例えば2億のものを1億の資産価値になったときにこれ銀行に万歳三唱でさ、銀行売っという。これは別に俺が破産じゃねえ。銀行に自分が売れないから売ってほしいというのが別に自己破産やから。全然、その差額の1億は銀行に払ってねって言うとする。これが日本の経済でしょ。世界の経済。ドライに考えれば。資産価値のある間は反対かもしれんけれども、資産価値がなくなれば。

メンバー：

元金を返さないとキャッシュフローは・・・

北野会長：

元金を返さない・・・いや、銀行に待ていう

メンバー：

それでいいのかなと・・・

北野会長：

それは絶対に、そう

メンバー：

金利が高いので。

北野会長：

いくらなの？

メンバー：

2.6ぐらいです。

北野会長：

それは、すごいね。

メンバー：

それを何とかできないかなと。

北野会長：

それはだから次の銀行を探すわけよ。

メンバー：

でも、そんなに貸してくれますかね。17億とか。

北野会長：

17億しかないの。それいい話やわ。今度、東京のパーティーに政治家のパーティーの切符をちゃんと孔明さんから渡すから、そういう話は美味しいよ。

メンバー：

借り換えられないか、金利が半分とか・・・

北野会長：

先生、それが半分ではあかんでしょ。ラッスンゴレライでしょ。やっぱり1%割らないとみたいなことをバンと報奨金をかけて交渉したらそういうこと

真田 孔明：

褒賞金ね。

メンバー：

2.6パーで返してる

北野会長：

返せるってことはものすごい儲かっという・・・

真田 孔明：

すごいですよね。

真田 孔明：

会長に成功報酬 笑

メンバー：

9月が楽しみになりますね。

北野会長：

今それぐらいの細かい銭はできると思うから一ぺん、俺、言うてみる。じゃ。

真田 孔明：

細かい銭 億 笑

北野会長：

だから、まずは金利を叩くが。報奨金は少な目に、バンと言えがいいの。来年のパーティーに僕は参加するからと。わかる？それぐらいを簡単に言える能力がなかったら生き延びられんが。

メンバー：

来年・・・

北野会長：

今年、生き延びたら来年、また来ますよ言うて。2万円のパー券やから。紹介してもらってあとはうまくいけば俺が先生、色々世話になったと。来年にはもっと若い衆が増えてくるよみたいなことを言うてけばさ、会費も納めるからみたいなことを言う。政治家はね、その言葉に弱いんやて。俺なんかずっと会費を納るとる身分やから相手は弱いやて。ほっといても銭が上がってくるんやから。うちから。会社からね。事務所をいっぱい持っとるって言うてみんなホラを吹いとるやろ？事務所の経費はお前、これだぜ、お前。「会長、頼むよ。頼むよ」っていうから俺、「うちの会社から引き出してね、使っておけよ」「秘書が1人増えたもんで・・・」「いいよ、もう。細かい給料ね・・・」こう言っとるだけのがやて。でも、頼みも強いよ、俺は。弱みを握っとるから。「バカヤロウ、お前、俺の言うことを・・・」と出るがやて。だから、やっぱり清く、正しく、美しくじゃないけれども、俺は脅かしはせんがよ。でも、やっぱりギヴ・アンド・テイクやからでないとうまくいかないでしょということをいつも言っとる。

悪人、お前、多分かもしれんぞ。頼むこと多いかも。そういうところの所轄も先生、よく知っているから。こういう件があるんだけど・・・とかさ、パンと言うて単刀直入にパンと聞くがやて。聞いて、何かできるよいうて秘書でも言うたらあとは電話番号を聞いて繋がっていけば。それだけだけ。彼らは利用してもらって初めて一丁前やから・・・本当よ。あんなもん、2.いくつが半分でもいい。利息が半分になるんやから。でも、俺やったらそこで元本を返さないでいいのを組むけどの

メンバー：

元本を返さないで。

メンバー：

金利だけ。

メンバー：

ほとんど返していない。

北野会長：

でもね、自己破産したら先生、銀行が絶対、先生のことをかけるいうことはできない。

メンバー：

弟は保証人、連帯保証人になっているんですよ。

北野会長：

銀行はその会社を潰すということとはできないの。銀行はそれを吹っ掛けるいうことはできない。ほかで手形債務とか何かが起きない限りはできない。

メンバー：

それは・・・

北野会長：

銀行はもともと信用して貸してくれている。貸しとったわけやろ？それなのに返さんからいうてすぐ利息を返しとるのにそれを訴訟には持っていけないねん。利息も返さなかったら元本も利息も入っていないからって言うて訴訟をかけることはできる。

メンバー：

そこで返していれば大丈夫。

北野会長：

日掛け、月掛け、心がけ。まめによいしょに、プレゼントやで。

真田 孔明：

弁護士の先生に1枚、書いてもらおうとあれですから、下がりますから。

北野会長：

絶対ないから。だから、さっき言った代金を今、残っとる代金はみんなそっち

メンバー：

発想を変えないと・・・

北野会長：

銀行はね、資産は取れないの。覚えておかれ。絶対に取れないの。銀行が融資しとる会社、先生が利息を払っとるうちはどうしようもないが。もっとね、先生、簡単に言うたら実印あるやろ？会社の。実印が生み落ちてなかったら、どうしようもないから。最後になったら銀行が頼むから実印はタダで今つくってあげるから印鑑を押してくれって言うがやから。簡単や、先生、答えは「嫌」

真田 孔明：

嫌わい。

北野会長：

これだけ。世の中は同じ。嫌、言われたらどうしようもない。実印を押す気がないんやから。あれね、実印を押さなきゃね、ゲームは始まらんが・・・日本は。アメリカでも一緒よ。サインしなきゃ全然、始まらん。罰金、払えって裁判所に行って署名しなきゃさ、誰も、できる者はおらんがから。俺なんか、もうハワイ、15年、来て、そんなたいした悪い事をしていないけどしょっちゅう引っかかるとるがちゃ。何やこうや言うてね。俺は必ず日本の弁護士に言わせる。

この人は全く英語がしゃべれんてわからんがから、それは仕方ないことや。わからん者と先生、知らん者は相手に戦争してみても勝ち目は絶対にねえんだから。わからないって、知らないって・・・どうやって立証できる？相手は立証責任があるがよ。そうやろ？相手は立証責任ある。俺はわからんがやから。お前ら、立証せえって・・・

メンバー：

サインしなければいいわけですね。

北野会長：

先生、簡単。実印おさない、サインをしない。

真田 孔明：

海に捨てておく 笑

北野会長：

これに勝る答えはない。俺の東京の友達の不動産やてね、2~300億、みんな飛ばしてみんな生きとるよ。お前ね、必死に働くことはない。借金してバンとずらかした銭で一生こうやって遊んで・・・簡単やちゃ。自分の奥さんはパンって縁を切って愛人んにパンとマンションを買ってベンツを買って、毎日、送り迎えをさせとるんやから。下町のところでワンルームマンションを借りて、銀行と話をするときだけそこに行ってる。

メンバー：

お金のないふり

北野会長：

本当にまたおもしろい。女もおもしろいけど、でも、もとの社長もまたイケイケバンバンでさ。200億、300億、飛ばしてるんやから。みんな、北海道、もう1人は四国、いろいろな、やっぱり2~300億、弾を引いたやつは金もやっぱり、10億ぐらいは弾を持っとるんや。自分の名義は一切ないから全部、女の名義。とんずらをこくんやて。それで銀行が実印を押してくれいうやろ？言うんやから。銀行に「お前、人に印鑑を押してくれいうて頼んどるんだから銭を持って来いよ」「社長、あんた、あんたの債務の話ですよ」いうて・・・「お前、でも、判子をつくのにタダいうわけにいかんよ」いうて。これぐらい言うんやから。わかる？俺の借金やけど、俺は実印はタダじゃ押さんよって。お前、銭を持って来いっていうがやから、銀行に。

真田 孔明：

相手も所詮サラリーマンですからね。サラリーマンの常識の範囲外から来られると何も答えられないと。

北野会長：

お前、銭を持ってこんなら帰るわいってバンと帰ってくるがから。本当にすごい。俺もそんな場面ね、相手も俺みたいな用心棒みたいな顔をしておると泣くやろうよ。「お前なんや！」とか言うてさ言うわけよ。コーヒー飲む。喉に詰まる。わかる？孔明。コーヒーが喉に詰まるって、銀行が言うんやから、俺に。「お前、何や！」って言うたら、迫力にやはり負けるやよ。債務者の用心棒か何かに、大きな声を出し、「お前、何や！」これって言うと、自分、コーヒーが喉に引っかかるからきょうは帰らせてもらいます。あとは2人で居酒屋に行って姉ちゃんを呼ぶだけ。ほとんどそんなよう。ずっとね、うちの失われた25年、先輩らちの処理に俺は回ったの、処理。借金の処理をせんなんやろ？だから、俺は言う「先輩、そんなね、たかが借金で自殺することはない」でも、逃げたら辛なるから逃げなくて立ち向かえ。五反田のワンルームマンションを借りてさ、五反田のワンルームマンション。ほとんどおらん。銀行はテレビでもあのごっついテレビやからね。冷蔵庫もこれやから。缶ビールとジュースは2本ずつ。何で言うたら俺と彼が行って飲む分を・・彼も気が弱いからさ、頼むんやて。五反田に行っておもしろいのはキャバクラぐらい。五反田のキャバクラはまた面白い。

メンバー：

爆笑。

北野会長：

本当やよ。五反田で本当におもしろいのはキャバクラぐらい。六本木からしたら値段が安いやろ？新宿の3分の1以下やからね。

真田 孔明：

1時間5,000円ぐらいですからね。五反田は。

北野会長：

もっと安い。

真田 孔明：

あっ？もっと安い。

北野会長：

俺なんか、店・・

メンバー：

金利だけ返しているのはOKなんですか？

北野会長：

金利を払って実印は絶対に押さない。これだけで永遠に大丈夫。

真田 孔明：

永遠に。

北野会長：

今度パーティーに行ったら代議士に言ってあげるから。今、借りとり物件を担保に・・・国金でも農金でもどこでもいいから弾を持って来いと・・・その交渉やろうね。最初は先生、絶対に言わにゃあかんよ。「全部返済します」これをサラっと言えるこの度胸。

メンバー：

借りるときにですね。

北野会長：

借りるときは日掛け、月掛け、心がけで全部、返します言うが。借りたら最後、返さんが。たったこれだけのゲーム。そんなね、難しい事なんて一つもない。俺がやっているのは。

真田 孔明：

しかも、相手もサラリーマンですからね。責任がないんですよ。

サッチェル：

3年間とかは・・・転属するまで。

真田 孔明：

金利が上がっていれば別にその人も立っているだけですもんね。

北野会長：

だから、さっきから言うとりやろ？俺については、俺がもらった金は借金。お前からみたら売上やろう。俺をナメとるがかい。俺は1,000万、1億の金は返せんと。お前、売上やからもう1億持って来い。前の1億はバンと返したる。お前、俺いくら得するもんや。差額1億は俺のものやぞ、また。こういう具合に投信に金を入れていくわけよ。また返さんがやから。

メンバー：

相手の銀行側は弾っていうのを投資にぶっこんでいるっていうことは知っているんですか？

北野会長：

うるさいことを言うたら見せてやるが。iPadを見せてやるが。

メンバー：

もうガンと・・・

北野会長：

口座はいつも入っとる俺の場合は。iPadに。番号さえ打てばパッと出るがやから・・・ここに。額を見たらもう支店長は目を開いたままのやから。

真田 孔明：

自分が貸している額より圧倒的に多い額がそこにプールされているからね。何十億っていう。

メンバー：

それはいつでも返せるわって。

真田 孔明：

しかも相手はサラリーマンですから。この人はいっぱい持っているってなっちゃいますね・・・すごい。

北野会長：

ただそれで終わり。ゲームは終わった。

真田 孔明：

心理を全部、読みきってる！

北野会長：

お前、だから俺みたいな者にお前、金を貸してもらっても早くお前、首になるだけだよ。むしろ俺に今以上のものを貸せばお前は出世できるよと。お前から見ればこれは売上なんだよと。これをいかに居酒屋でうまいこと言うかが勝負やよって・・・。

真田 孔明：

一回も利子は返済しそびれたことはないんですよね？

北野会長：

ないよ。ジェントルマンやもん。借りた以上に必ず余計、借りるんやから。わかる？ラッスンゴレライみたいに。これだけちょっと半音足らんけど、1から見たらコンマ5、余計に借りとるんやから。

メンバー：

それでまた交渉するとまた貸してくれるんですか。

北野会長：

貸してくれるよ。返さないんだから。返さないやつには貸すしかないの。これがまだ素人やからわからないわけ。先生はだから自分が高利貸や。俺に貸す・・・俺、太るがや。でも、金を返さんわけよ。でも、先生は利息は欲しいやろ？俺はだから先生に言うわけよ。お前、ただか高

利屋じゃから。1割、払ってやる・・・1割なら。お前、でも1年、今年も来年も再来年も10年経っても永遠にあんた1割ずつ入るから・・・俺から。利息が。お前、それが一番、幸せでないかと。俺は絶対、潰れん男やからこれぐらい強硬な体、このパワー、どう考えてもお前より強いよと。体力、肉体的、精神的に。そのほうが君は得やよ。それよりも、もっといい方法を先生、聞かせてあげようかと。今、1億、貸しとると。俺にね。取りあえず、1億5,000万にせと。1億5,000万、成功したら3年目は3億にせと。何でここに倍になるんですか言うて。お前、お前から見たら売上やると。倍にすることが君の売上、君が栄転になるもとやと。これぐらい言うてね、栄転のもと。俺が返済できないっていうのはその次の代のがちゃ。わかった。融資した先生の売上じゃねえ。返済っていうのはその次の代の支店長にかかってくるが。次の代の支店長に言うわけよ。支店長ね、俺は金は返せんけど3億いうけど、たった3億いつでも返せるよと。でも、ここで考えてくれと。俺、3億をいっぺんで返したらお前、3億5,000万、融資だけで持って来いと。簡単やん。3億5,000万、貸し付けた会社から3億円、回収しとるんやから。俺から言うと仕入れが3億から3億5,000万に増えただけ。銀行から見ても3億、返してもらって3億5,000万、融資しとるんやから。新規売上は3億5,000万やから凄いや、先生。だから、あとは抵当に入れておけ、そんなもん。何年も抵当に入れておけ。抵当権が足らんだら、うちの母ちゃんも抵当に入れ。うちの母ちゃんは価値があるよと・・・ここまで入れるやつは俺ぐらいやから。うちのかみさんは骨董品やと。価値観はあると・・・古いんやから。これぐらい冗談で言えないとこういう勝ちゲームには乗れんまい。勝ちゲームちゃ、それぐらい難しい。

メンバー：

はい

北野会長：

でも、本当はね、借りとするものを日掛け、月掛けで入金、入る、出金した、利息も払った、減価償却もした決算書をとるわけ。それがもし、プラスならやっぱ今、何パーって書いてあるか知らんよ。1%以上なら銀行と交渉するが。金利をまず安くすること。それともう一つは何とかオーバーで、オーバーで。要は今の借りとする額を2,000万でも3,000万でもいい、オーバーに、オーバーフローして欲しいんや。こういって頼むがやて。これがもしOKになったら今度は返さないゲームに持って行かにゃあかんが。クルっとこうゴルフのスイングみたいに。今まで強く、こっちからスッと抜けるような返さない話を交渉に持っていくがやて・・・元本と。そのかわりに利息は俺の場合はサラッと全然ね・・・簡単な言葉で。そのかわり利子は先払いしますよ。格好ええやろ。お前。利子は先払いやぞ。うちは余っとるから元本を返さんいうから利子なんてあんなものどんだけ先払いしても、小さい金のものがちゃ。利子っちゃ、先生、先払いして。元本を返さないやから。支店長、利子は先払いすっからさ、頼むよ。今日の思い出やんかいな。バンって行こうよ。そんなね、あんたも売上が減るだけや。頼む。酔って歩いて、ああいうバカなことは言えんぞ。人間は。酔ったふりしないとね、返さないとかさ、

メンバー：

素面で言うと思った。売上でしょとか。いつも出さない、もっと高い声で。

北野会長：

だから、そういうことになるわけよ。だから、ホラが商売の音が出る瞬間さ（手をパンと叩く）。商売っていうのはね、2秒から3秒もかからん。iPadのボタンを押すのは2秒、3秒、考えることもねえ。プラスだったらパンと売っておけばええんやから。ただ、これだけのことは人間はできんいうことを言いたいわけよ。これほど難しいことはない。銀行に寄ってさ。支店長、取りあえず細かいことを言わんと利息だけは払うから。利息も支店長、先払いでとっておいてくれ。酔ったふりして言うがや。支店長が「え、先払いですか？」お前、考えて、貸した金を先にお前、銀行員やから。先にお前、利息をもらうたらお前、利息は増えていくやろがね。支店長、見るのはそこだけなの。元本、そんなもの借りてくれれば永遠にね。君たちはこのワングेमは絶対になかなか理解できん。これ1回、成功すればね。永遠に借りとった人になれ。

メンバー：

今、会長が言った元本は変わらないんだからっていうのは、凄い心理ですよ。借り換え、借り換えをしていったら結局は変わらない額ですよ。額が増えるだけ。あくまで彼らが欲しいのは返済という金利の返済だけなんですよ。

北野会長：

元本を返すと人間は窮屈になるがや。1億、借りてコンマ6で、うちはコンマ5か6やけど。安いやん？コンマ6でバンとキャッシュで払っても60万やて。先生、借りたほうが安いやろ？60万いうたら、月5万も払とるんやよ。支店長に。お前、俺がよく言うのは「お前、支店長、ナメたらあかんぜよ。今日の飲み代が5万かかるとるいうことは、お前、利息を俺に倍、払っとるのと一緒じゃ」この言葉わかる？これはものすごい人の心を打つよ。払っとるのは月5万やと、利息が。支店長、今日、お前、居酒屋に行っ、クラブに行っ、スナック2軒目やよ。これ3倍の利息を払っとる・・・お前に。お前、ナメたらあかんぞ。とは言わないけれども。また、次も飲みに行きましょう。そうやろ？ここが商売の要や。うちの要。扇の要。要はここにある。この信用を通さなきゃ要にならんがやから。だから、失礼な話やけど、やんちゃしたやつはきつっていいのはそこ。やんちゃなやつは。もっと強いやつは証拠を残さない。それは犯罪になるから難しいことは我々、庶民の世界はそれぐらいを基本にしておいたほうが結構、勉強になります。

メンバー：

はい

北野会長：

俺みたいどこかで山を掴んでやるとかさ。思ったやつはまた別や。悪いことをしたいときはまた相談してください。指導しますから 笑 でもね、山を掴むときには一山、掴むときにはね、どこかに相談せんと本当に。丁半博打やから。そのときは。でも、丁半博打でもみんなね、勝てる軍師は勝負に出んがね。だから、丁半博打でも丁のほうがさいの目は多いんやから。だから、銀行は絶対にその会社を倒産には追い込めんが・・・金利を払っとるから。本当はそれ

を肩代わりできるどこかの資金を用意して、肩代わりしたほう、例えば2.6を1%にすればかなり助かる。俺もね、事業をしとったときに今も事業をやっているんだけど、バッチに頼んでやっぱり何億も補助金をもらおうとる。ジェントルマンやから。補助金って返さんでもいい銭やからね。あれはもらったらもらい得や。銭を取るがやから。結構もらうつき合いやて。払う側にはなりたくないやて。そこに駆け引きするタイプやから。俺は必ず言うがやよ。代議士に。どこかの代議士でも俺はバッチ、貧乏やから成功報酬にしてくれ。成功報酬。この話がまとまったら銭を払う。これが成功報酬。人を殺したらいくら銭をもらえんっていう話と一緒にや。成功報酬はその話が成立したときに払う報酬。前払い金じゃねえ・金ねえんやから。

北野会長：

それは女性に対しても言うんですか。

北野会長：

それは当たり前でしょ。無駄金を使えば永遠に無駄。無駄や。覚えておいて。無理、無駄、ムラっちゃるくなことない。無理をすれば無駄が生まれるし、無理、無駄、ムラ言うがやから。最後にムラが生まれる。やっぱり女性に。鋭い一言ですね？

メンバー：

笑

北野会長：

そのときはとりあえず海の権利も空の権利もあげるよ。報酬はみんな指輪にしてくださいぐらいは言うてもええんやちゃ。ここで責任を持ては永遠に責任は来るがやから。だから、そこら辺をいかに考えるか。

北野会長：

皆さんは我がの考えで人生は立つと思うとるやろ。でも、違うんや。娑婆に男と女がいる限りは女の意見を半分ね、飲み込んでいかんと金持ちにはなれん。そんなもん毎日言わなかった。俺、毎日、嫁はんの顔を見て、朝、起きてパッと見たら、あ、いつも言っとるやろ？「今日も綺麗ですね」その一言さ。目が回ってくる。

メンバー：

二日酔いでも 笑

北野会長：

今日も綺麗ですねと。二言目が必ず決まっとる。愛しているよ。これね、枕を後ろにしながら言うたらもうね。でも、これを務めにして言えれば43年ぐらい過ぎたけど、大事なことや。この一言がもし言えたら。あんたらちが結婚して43年、俺みたい、今日も綺麗ですねと。愛してるよとかさ。日掛け、月掛け、心がけと。まめによいしょにプレゼント。もし、言えたらこれは最高の・最高の人生。でも、俺よりも皆さんは抜き出る男が出てくっと。会の中から。ま

た、この矛盾した言葉を理解する人間が何人、生まれるかで決まっとる。矛盾した。小・高・中・大学まで習ってきたことのまるっきり違った言葉やで、普通、半端者にはできん。普通部品じゃなかったんやからこれはいつか理解できるんでないかなとただ思っとるだけ。ただいつかね。今はできん。そんな今、失礼やけどそんな能力はない。そんな能力はないけども、株にしろ投信にしろいっぱいまたね、債権、それから225、海外株式、山ほどあるんや。その分野だけでも。ただ、株のいいところは固定資産税がない。だから、収益の20%しか、20.135しかかからない。ここら辺がいい。本当はね、覚えておいて。税率の安い国を選んだを思っとるやん・・・違う。日本で株だけやるとれば税率が一番低いのは株。市県民税がないんやから。ところが法人はさ、今度55%や・・・法人税が。最高税率が55や。市民税が、市県民税が10%や。65%のピンハネ興業の中で生きんならん。金融の中のコイは死ぬよ。65%。だから人間ちゃみんなそんなもんやから。これ俺か？（食事）

メンバー：

そうです。

北野会長：

いい。これね、すごく簡単な単語やけど、実行は難しい。皆さんもそういう具合に思って実行してってください。今日の総括として金は返さないよ。株はどんどん売り買いするよ。売らなきゃ絶対に儲けはないんや。孔明さん、孔明さんも15万、稼いだのは大したもんやな。俺、昨日、その話を聞いて感動して。

真田 孔明：

6カ月後。ようやく理解して。あしたもあれですよ。午後2時からみんなでビーチサイドに行つてやるんですよ・・・居合抜き。ビーチで。

メンバー：

集中できるかどうか。

メンバー：

水着見ながら・・・笑

メンバー：

よそ見して 笑

北野会長：

案外それがよかったりして。ヒットを打ったりしてさ。

真田 孔明：

明日は月曜日ですね。明日の12時ぐらいにまたハワイアンセンターで・・・水着を持って来たほうがいいですね。明日ね。

北野会長：

明日は相場はハワイアンの時間で2時から始まる。

真田 孔明：

2時ですね。12時から飯を食ってからビーチサイドですね。

メンバー：

それがいいですね。

真田 孔明：

夜は6時半から居酒屋の大漁ってところで食事で。

北野会長：

何時。6時半。

真田 孔明：

6時半で。その前までにワイキキビーチに行った後でアラモアナショッピングセンターの白木屋の2階の例のビールを飲むところで集合。ビーチに行かない人は。

メンバー：

明日ですか。

北野会長：

俺は今日、これに話をしとったんやけど。明日でも使いたいと思って。予算1人、6万円ほどやな言うとったの。親父は・・6万円。お前、ナメとるがかい。会員が6,000万やから、1人で6万円で無料みたいなもん。

真田 孔明：

今日、お会いしたんですか？

北野会長：

さっきちょっと話をして。1人、6万円。あの親父はもう、ぼったくりマシーン。

真田 孔明：

その上では1USドルでビールでバラまいているんですよね？

北野会長：

それが1回、皆さんが見てきた・・ハワイのじじどもは1ドル、稼ぐ。ラスベガスのじじも1ドル・・セコイ。たった1ドル稼いどる。機械にドル入ってくるのを朝、集金に行って機械から抜いて、こんなパックに持ってくるがやて。100ドルもいっぱい入っとる。20ドル、50ドル

も入っとるんやて。1ドルを入れた人だけにはパンと当たるようになって。夢は1回だけやから・・アメリカンドリーム。それを仕掛ける。コンピューターで・・それだけ。ほっといても儲かるようなシステムはどこにもない。ほっといても儲かるシステムは絶対にないんやから。それだけは覚えておいて。経済はやんちゃなシステム。それといかなる1,000冊の本、1万冊の本を読んでも真実は1行もない。真実は1行もない。誰も自分は人を殺した。自分はやんちゃをした。自分が友達の兄弟の会社を乗っ取ったって誰も書かんよ。人間はそんなもんや。これが世の中の怖いところさ。わかった？先生ね。絶対に書かんがや。だから、真実は絶対に語ることはない。だから、あんたらちいつかビル・ゲイツのさっきの話も金の返さんという話もいつかそういう疑問を持って見ればすぐに突き当たる。すぐわかることがいっぱいある。すぐそこにぶつかる。でも、俺がよく皆さんに働く、動くな、動くな。考えても。ごめんね。考えにゃあかんよ。考えなきゃ。3番目は考えるやから。じっくり考えなきゃ絶対に勝ち目はねえんやから。考えなきゃね。でも、今日、皆さん、いつ来たか知らん。今、アラモアナセンターの前に海岸淵にマンションを作っとるやろ？8階のこんなアルミのバンみたいなものをたくさん引いて、セメントを流す。あれ1個、20億。20億。俺の精子でも2億しかないから10回は出さんな。精子では買えんがやちゃ。ここよく聞いておいて。やっぱりキャッシュが20億いるがやて。あれが完成したら。それと今、アラモアナセンターの売買が成立した。あれはももとは日本人が所有しとったんやよ。日本の小佐野賢治という人が所有しとった。あこからあの見えるところ全部、所有しとった。この話を本当はしたかったので皆さんをここに招待したの。あの端からここ全部、小佐野賢治が所有しとる。

メンバー：

アラモアナからですか。

北野会長：

そうやよ。一部抜かして全部や。

メンバー：

小佐野賢治。

北野会長：

そう。小佐野賢治。

北野会長：

でもヘタると所持金移転でみんな終わる。白木屋のおじさんは今、何かデパートを作っとる。あの人が日本やんちゃ興業やから。彼の発想が違うんやて。もう、日本を離れたから外国人、やんちゃは関係ない。器量やから・・器量。器量。すごい言葉や。日本に器量という言葉があったが？器量や。自分の器量でやっとるが。金も人生も関係ない。少年に言いたい。俺、いつも言われるとカーッと来るんやけど、それがね、なかなか反抗はできんの 笑

真田 孔明：

向うのほうが年上だし。

北野会長：

そうそう。年上やし。迫力はね、俺の10倍ぐらいあるね。怒るときだけやけど。あとはほじょほじょとしとるんやけど。ここのハワイの市長っちゃ、市長。市長。これ日本の沖縄の4代目なんやて。今、ハワイで元気なおじさんはね、1代目なの。76から84ぐらいのおじさんやけど、またね、ハワイに来たら元気がやちゃ。気候がいいから、死なんが。文句ばっかり言っとる。去年はかなり褒められたん。少年はいい物件を持つ。64の俺が少年やからね。何かム力つくけど。俺は小切手の額で我慢しますいうタイプやから。このジェントルマン。これをできなきゃ、お前、金持ちになれんよ。上の者にはへつらって生きる。下の者には横柄にはならない。これが金持ちの秘訣。

真田 孔明：

下の者には？

北野会長：

横柄にはならない。下の者は大事にする。横柄になると下から愛されんようになったらもうブヨブヨや。そうならないように僕も企業努力しとる。人間はすべからく永遠にそうや。今日は10人、総勢、いいよね。この前のあこもよかったけどここもいいね。何となく・・・前に来た人が。

真田 孔明：

前はアズアレストラン。

北野会長：

2人だけやったか？

真田 孔明：

2人だけです。

メンバー：

どこ？

北野会長：

アズアレストランっていう。ロイヤルハワイアンホテルの・・・

北野会長：

あこはね、サンセットと夜景とあるがやて。結婚してるの？

メンバー：

していないです。

北野会長：

そうやる。今度、女を騙したら紹介してやっから。紹介料5万円だけくれれば。

メンバー：

安いな 笑

北野会長：

安い。そう思ってください。感謝の気持ちがあったら50万。金には糸目をつけんから・・・もうときはね。払うときは糸目をつける。笑 これが結構、俺のいいところ。でも、人間はしぶとく生きないと生き残ることはできん・・・絶対に。しぶとく生きることを練習すること。だから、今日は総括でたった1円、たった1ドルをバカにするやつは難しい。俺は1ドルのアメリカの株式も日本の1円でも俺は抜く・・・刀を。刀は自分のものやから。でも本当にね、携帯電話に入れとるけど、1円でボタンを押してもなかなか1円を抜けるってのはね、一年で3回はない。たった1円やよ？たった1円を1年に本当に3回あるかないか。3円、5円、売れなかった、マイナスはあるよ。でも、プラス1はなかなか抜けんもんやて。俺は欲がないからプラス1だけを大事に・・・俺は。そんな欲したくないが。プラス1でええが。毎日それが10回、20回あれば俺は大金持ちに決まっとる。あとは最後にドッカンのときに売れる男にならなきゃ。売れる男にならなきゃ、絶対このゲームは勝ちはないよ。どんな商売でも。じゃ、お前、女に例えて考えてみてよ。あとは一番間違いないことは女に騙されんこと。ほとんどね、俺の友達で半分は愛に溺れとる・・・愛に。愛はあやふやなものだぞ知らんがね。間違い、気違い、勘違いで俺はモテるんやと。ここで愛に溺れるが・・・3分の1、半分とは言い難いけど、愛に溺れるとやっぱり死んでいくが。

真田 孔明：

どういう風に愛に溺れるんですか。

北野会長：

どういう風になって、やっぱり愛を信じるわけや。嫁はんよりも愛を。「愛に溺れて、あなたを愛し♪」みたいになるがやちゃ。でも、女はただ本当は金がほしいだけだから若い肌を金で売るが。そこに間違い、気違い、勘違いって起こるわけよ。孔明は80のばばも食うかいうたら食わん。60食うかいうたら「え～」、50食うかいうたらまだ、僕、40代やから、こう思うがやちゃ。じゃ、40食うかいうたら、俺、同級生やから強気になるがやちゃ。じゃあお前、金を払うのいくつかいうたら、30からでしょ言うちゃ。このガキはそんだけ生意気のがやから。わかる？これが人間のがち。これが人間やて。企業努力してじゃ、90、80のお姉さんと寝られる？「私、昔、綺麗だったのよ」ってどんだけ扇子を高く上げててもなかなか難しい。そうやる？だから、人間はだから同じこと。本当は一番、今日の勉強で言うことは女のことを学ぶこと。これが一番最大の勉強かもしれん。

メンバー：

はい

北野会長：

支店長、頼むよ。これがね、言えんやつはもう終わり。金なんてね、バカな返そうなんてね、思っとる馬鹿者はもう絶対に生き残れん。俺は頭は悪かったけど、やんちゃはできたタイプやから俺はただ習ったことはするが。投資信託も東京が言うから買っとるが。下がったら必ず文句を言うもん俺。「バカ野郎、俺をナメとるんがかい」みんなね、嫌がるが・・（店員が来る）大丈夫や。もうちょっと待って。もう1分か2分か。3分か知らないんだけど。これ見て。僕はちゃんと毎日、楽天カードを 笑

真田 孔明：

サービスチャージはいくらにしてください。15%、20%。

北野会長：

15%にしておいて。お金がないんだから 笑

メンバー：

笑

真田 孔明：

タクシーで行きますか？

北野会長：

タクシーいる。4人ずつしか乗れない。本当はね、本当は嫌な話やけど、本当、嫌な話。嫌な話。皆さんにとっては嫌な話かもしれないけど、現実はそのまんやいうことや。80や70や60はねえ。現実はそのまん。知っている人も知らない人も。俺は年上のお姉さんと結婚しとっから、いつも嫁はんの顔を見たら言うとる。「今日も綺麗ですね。愛しているよ」毎日、言われとる。ハワイに来て。目にヤニがたまっても。言うがやて。それでも、とりあえずもう1回言え・・サインはどこや。

メンバー：

会長は今、例えばまた新しい会社を設立してとした場合にいくらぐらいに借入の規模から元本を返さないというような判断をします？

北野会長：

規模は。借入の規模。ハワイでも借りとっけど、借りとるがやて。シンガポールでも最近、借りるように努力しとるんやけど。借りたら返さない。

メンバー：

もう最初から・・・ハワイでも。

北野会長：

でも、借りて返したらひどいやん。わかる？返すのひどいやん。ひどくない。これひどいやよ。

メンバー：

結構な額ですよ。

北野会長：

そうやる？元本と利息ちゃね、結構ひどいよ。でも、利息だけをジェントルマンやから大丈夫よ。けんちゃんいよみたいなもんでさ。パンと返すんや。1億で60万の利息ぐらい僕でも返しますよ、パンと返す。これね、元本とともに返すいうたらひどいしんどいよ。だから、初めてハワイに来たときにグラスの電車の列と、返さない話をした。だから、1列、返して、もう2つグラスをもらえば2列やる？返済した以上に借りれば汽車の長さ是一緒。わかった？汽車の長さは一緒なんやから。もう1両、増やしたほうが得でない？これを言っとるんやて。でも、その反応、不審そうなわしを見る目。やっぱり理解できんから。それぐらい難しい。もし、皆さんがビル・ゲイツが自分の会社の株を空売りして儲けた世界の1番長者とわかったら、本当にビル・ゲイツは尊敬できるわけ？わからんよ。そんなのわからんよ。何でウォーレン・バフェットが一番下がったときにその会社を助けてやるいうてその会社の株を買ったんや？それだけのがて。誰もね、チビチビとした銭で金を儲けたんじゃねえ。人の窮地を救ったようなことを言うて安いものを手に入れたり、自分の会社を売りまくったやつだけが金を持っとるだけや。人間の真実はそれだけ。今、日本に生きとる、生き残っとる優良企業と言われたやつは1円も返さんで残っとる会社が残っとる。それから見たら俺の罪は軽いなといつも思っとる。

メンバー：

笑

北野会長：

罪。でもね、この間、日銀のその人に会って話を聞いていたら、金というのは回らないとね、経済にならないんやと。日銀がさ、金を回すやる？借りてくれん者がおらんと金っていうのは回らんやと。だから、どんどん企業には借金してもらわんきゃ困るやる？その借金するやる？企業が。その利息を払うやる。だから、日銀がこうやって回るんやと。企業が借金してくれるから日銀が回るんや。誰も借金をしなかったら日銀は回倒産して終わる。これが日銀の名前は忘れたけど、そういう人に会って夜、ちょっと、ちょっとみたいなもんで飲んどったら、「返さないやつだけが生き残ったんだよ」「え、おじさん、その言葉。済みません。わかりません」って言うたら、金を返したやつはみんな死んだ。返さない悪党企業だけ生き残った。もっと飲んでくださいよ。もっと真実あるかなと。最後、酔い潰れるまで一緒の言葉やった。酔い潰れるまで。返さなかった企業が日本に生きとって、返しとった優良の男たちは自殺した、あとは倒産した。あのときにね。

真田 孔明：

本当に死んじゃったんですか？

北野会長：

心が純情やから死ぬが。俺は全然、死ぬ気がないからパンと鉄砲やかい。わかる？パンと鉄砲やから。簡単、実印を押さない、利息は払わないでもへっちゃまでできるタイプやから。俺、金が余っとるから。いつも言うて。支店長、金が余っとるから利息はパンと払う。先払いやから・俺の場合は。とっておいてくれ。でも、今日は支店長と飲んだ、あんたうちの5分の利息じゃないよと。俺、今日、それから見たら1.5倍、払った。飲み代がかかっとるんやから。こう言えばさ、相手もわかるやろ？あんたは毎月、俺の接待をしたらお前のうちの利息、何パーセント？。計算してみてくれっていうの。え、わかった？この計算力がないとね、これまた難しい。1.5掛ける12やからね。俺の場合。俺はお前のうちに8%の利息を払っとるんやと。何を勘違いしとる。ここに間違い、気違い、勘違いのレースなの。この一言がだから。それぐらい難しいの。ハワイの物件を買いたかったらハワイでお金を借りるとマンションを買うと4.5%の利息がかかるの。日本では1%のお金が借りられるから。でも、ハワイの物件は担保にできんが。そういうことだけや。でも、ハワイの物件は小さい島にこれだけしか建物は建っとらんやて。それでも、今ハワイは中国人が来て買っとるが。わかる？お前、お前ら日本人やろがよ。中国人は多いぜよ。わかる？多いんや。銭を持っとるんやから。中国人が一番、何を買っとるいうたら、外へ出て山を見たら山に電気が立っとるわ。電気がついとる。中国人は土地と建物がほしいから全部、山を買うとる。山のプールをついとる一軒家を買いまくっとる。日本人はコンドミニアムを買いまくっとる。だから、永遠に上がる。日本人は土地、建物は自分のものやろ？土地も。

真田 孔明：

タクシーが来たって言っています。

北野会長：

本当。おあいそした？。じゃ帰るわ。